

サイバーセキュリティだより

発行：愛媛県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課

平成30年
6月8日
Vol.20

防犯カメラを設置又は今後設置を予定されている皆様へ

全国でネットワークカメラの
乗っ取り事案が発生しています！！

※ ネットワークカメラとは、インターネットに接続され、遠隔地にあるパソコンやスマートフォンで画像確認や設定が可能なカメラです。

乗っ取りによる被害事例

- 自治体が設置した水路の水位監視カメラや電力会社が設置した風力発電施設を確認するカメラが乗っ取られ、操作不能となった。
- 乗っ取られたカメラ画像には、ハッカーが書き込んだとみられる「 I ' m Hacked. bye2 」といった文字が表示されていた。
- 乗っ取られたカメラの中には、パスワードが書き換えられたものもあった。

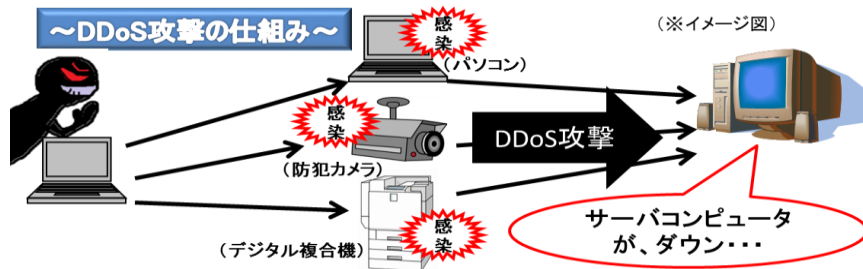
対策方法

- 1 必要のない場合は、インターネットに接続しない。
- 2 初期設定のパスワードは、推測しにくいパスワードに必ず変更する。
- 3 最新のソフトウェアに更新する。
- 4 プライベートIPアドレスで運用する。
- 5 ファイアウォールで通信を制限する。

ネットワークカメラの特徴を理解して、利用には十分注意しましょう。

対策を怠ると…

- 1 犯罪に利用されたり、プライバシーが侵害される。
映像を、「盗み見られる」「インターネット上に公開される」などにより、不在の時間帯が知られて逆に犯罪に利用されたり、行動が監視されるおそれがあります。
- 2 犯罪の踏み台にされる。
知らない間にウイルスに感染し、「DDoS攻撃」に加担している可能性があります。



※ DoS攻撃＝サーバやネットワークなどに意図的に過大な負荷をかけたり、脆弱性を利用してサービスの提供を不能とする攻撃

※ DDoS攻撃＝複数のコンピュータを用いて行われるDoS攻撃

相談窓口

愛媛県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課

TEL 089-934-0110